

議会 だより

北橋新市長を迎える これまでにないマニフェスト議会となりました。

3月議会は3月6日から15日にかけて行われました。

議員の任期の折り返しでもあり、2年に1回所属委員会の改定の時期と言うことで、初日に委員の任命まで行われる予定でありましたが、自民市民クラブ、社民党の、私の所属会派市民の風の3会派が要望する代表者会議開催を議長が無視をするなど、議会運営上の問題もあり、この3会派から議長副議長の不信任案が出されるという、いきなり大荒れの議会となりました。結果的には不信任案は28票対35票ということで否決されましたが、腹みを出すことでその後の委員の任命は比較的スムーズに決まり、結局翌日の朝6時頃初日の議会が終わりました。(すぐにいったん帰宅し準備して、同日午前10時から本会議が行われました。議員は体力勝負です)

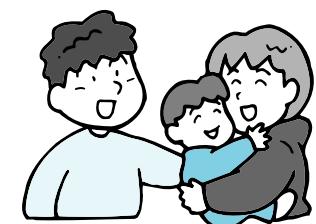
例年のこの時期の議会は予算議会で約1ヶ月以上行われますが、今年は市長が変わられてすぐの議会でもあり、4月1日から新年度がはじまりますので、スムーズな市政運営するために最低限必要な暫定予算の議会となりました。

それでも本会議では北橋新市長が選挙中にお約束したマニフェストの内容についての質問が相次ぎ、マニフェスト議会となりました。これほど選挙中に約束した政策が議会で質問され、市長が答弁される議会ははじめてでとても新鮮でした。与党だけではなく野党とご自身で言われる方々も含め、「ぜひマニフェストをしっかりと実現してほしい」と言う声が大変多かったことにも正直驚きました。このことは何よりもマニフェストの内容が市民の皆さんのが強い要望を反映していることの現われであると思います。

次の6月議会では北橋市長の公約を盛り込んだ本予算が上程されます。特に思いが強くありますのでしっかりと準備し、マニフェストの内容が更によいものとして実現するよう頑張りたいと思います。

子育てしやすいまちづくり特別委員会の委員長として、 子育て、教育日本一のまちの実現に向け全力で頑張ります。

私の所属委員会が変わりました。今期前半の2年間常任委員会は環境教育委員会、特別委員会は環境首都づくり及び高齢社会対策特別委員会に所属していましたが、後半の2年間は、常任委員会は保健病院委員会、特別委員会は子育てしやすいまちづくり特別委員会に所属することになりました。特別委員会においては委員長を拝命し、まさに子育てをしながらのこの職責に使命感を感じます。北橋新市長とともに子育て、教育日本一のまちの実現に向け全力で頑張ります。



児童養護施設の現状と改善について



委員会では「児童養護施設の現状と改善について」の質問を行いました。

児童養護施設は、以前は両親が亡くなつてや、生活困窮で一緒に住むことができないというような子どもたちがほとんどでしたが、最近は、両親が健在でも幼児虐待などで切り離しが必要とみなされた子どもたちが多く生活しています。そのような子どもたちは、情緒的精神的に不安定であったり、トラウマを抱えていたりする子も多く大変苦しんでいます。本市の児童養護施設では国の配置基準に従って、指導員がついていますが、特に夜間の状況が厳しくトラブルが発生するなどの現状が起こっているようです。また施設的に限られた部屋の中で勉強をしたくてもできにくい状況があり、このことも課題であります。家庭的に恵まれない子どもたちが、また施設でも難しい環境の中で成長していく、いろんなトラブルの出てきている現状を行政としてどのくらい把握し、対応をしているのか尋ねました。

保健福祉局の担当課長はトラブルの起こっている現状も大方把握はされているようで、本市では各施設に心理士を配置するなど努力していることの説明がありました。

私は子どもたちはすべて地域の宝物で、家庭の状況にかかわらず等しく夢を持つことが重要であると考えます。人的配置や施設面の充実には予算の問題もあり確かに厳しいのですが、できる限り議会で取り上げて支援していきたいと思います。

お詫び：議員生活10年の検証は紙面の関係で今回載せることができませんでした。お許し下さい。



忙しくてもせめて朝晩はしっかりと抱きしめて愛情を伝えたいと思います。



あたたかな日差しに例年より早く桜の花も開き始め、美しい季節となりました。

皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

この季節お花見でもゆっくりしたいところですが、前頁にも書きましたように、夫の突然の決断に、私はその手伝いと自分の仕事と家事と育児と「2足のわらじ」どころではない、めまいがするような忙しい毎日を過ごしています。そんな中でも、お蔭様で1歳5ヶ月になった晃一朗は見た目は2~3歳と間違えられるくらいすくすくと成長し、「晃ちゃんいくつ？」と聞くと、人差し指で1とやってくれるようになりました。平日の昼間は保育所なので、できるだけ土日や夜は仕事でも可能な場所は連れて行くようにしていて、市長選の時も演説会など連れまわしていました、「エイエイオー」と「バンザイ」そして誰にでも握手を求める

など覚え、朝、目を覚ますなりやっています。本当はもっと子どもらしいかわいいことを覚えてほしいと思いますが、環境が環境だけに親の責任を感じます。平日移動中などに時折、母親とずっと一緒にいるようなお子さんを見かけると、わが子を思い、なんとな

くせつなくなりますが、せめて朝晩だけでもしっかりと抱きしめてスキンシップをはかり、少しでも愛情を伝えることができたらと思います。また最近よく「忙しくて子どもさんは大丈夫？」とご心配もいただきます。私なりにできる限り子どものことを考えながらやっていますが、正直不安もあります。たぶん忙しい仕事をしておられる親御さんは同じよ

うに悩みながら子育てをされていらっしゃるのだと思います。それでも私の場合は近くに両方の親がいて子どもに深い愛情を注いでくれることをとてもありがとうございます。いずれにしても親の後姿をみて子どもは育つと言います。せめて子どもに恥ずかしくない後姿を見せていただきたいものです。